

平成 23 年度 農薬吸入毒性評価部会
議事概要

1 開催日時及び開催場所

日 時： 平成 24 年 2 月 28 日（火） 14:00～15：35

場 所： 法曹会館（高砂の間）

2 出席委員（五十音順、敬称略）

井上達、上路雅子、小川久美子、坂部貢、平塚明

3 会議の概要

(1) 部会の設置について

本部会の設置の趣旨等について事務局より説明がなされ、開催要領（案）が原案どおり了承された。

(2) 部会長の選出について

開催要領に基づき部会長及び代行の選出が行われ、部会長に井上委員が、代行には上路委員が選出された。

(3) フサライドの吸入毒性の評価について

資料 3 に基づき、環境省より説明がなされ、原案のとおり、フサライドの 28 日間反復吸入毒性試験の無毒性量を、雄：30.2 mg/kg 体重/日、雌：173 mg/kg 体重/日とする評価結果が了承された。

なお、委員より、雌の中間濃度において認められた肺泡沫状マクロファージの蓄積増加を毒性学的意義がないとすることについて質問があり、専門家より、当該変化は軽微かつ吸入毒性試験において散見される肺に未吸入の粒子による異物反応であり、二次的な変化であるとの考察が示された。また、高濃度に見られた呼吸器粘膜への影響は物理的な刺激による変化であるとの考察も示された。

(4) クロチアニジンの吸入毒性の評価について

資料 4 に基づき、環境省より説明がなされ、原案のとおり、クロチアニジンの 28 日間反復吸入毒性試験の無毒性量を、雄：22.6 mg/kg 体重/日、雌：24.8 mg/kg 体重/日とする評価結果が了承された。

なお、委員より、

○低濃度における体重減少を毒性学的意義がないとする判断根拠を明確に記載すべき、

○体重減少は体重増加抑制と表現すべき変化ではないか、

○肺の暗調化との表記では肺全体の所見を想起させるので、肺全体の所見か部分的な所見か確認した上で、適切な用語を用いてはどうか、

との指摘があり、試験実施機関において上記について確認した上で、評価書（案）を修正

し、再度委員の確認を得ることとされた。

- (5) 平成 24 年度吸入毒性試験対象農薬について
資料 5 に基づき、環境省より説明がなされ、原案どおり承認された。
- (6) その他
環境省より、来年度予定について連絡があった。

(以上)